

SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「電子図書館」を題材にした会話です。



- Emily I came to the library for the first time in a long time.
(久しぶりに図書館に来たわ)
- Nahoko By the way, a good service has started.
(そう言えば、いいサービスが始まったのよ)
- Emily Digital books?
(電子書籍?)
- Nahoko Yes.
(そうよ)
- Emily That's convenient!
(それは便利だね)
- Emily& Please try it!
- Nahoko (どうぞご利用ください)

※上記は3月の「キラっ都させば」で放送した内容です。過去の動画は右の画像からご覧いただけます。



※4月からは文字情報の「させば市政だより」を放送します。

させば市政だより

- テレビ NBC 土曜 9:25 ~ 9:30、KTN 土曜 11:45 ~ 11:50
NCC 土曜 16:25 ~ 16:30、NIB 日曜 6:30 ~ 6:35
- ラジオ FM長崎 火曜 9:05 ~ 9:10
FMさせば 金曜 13:00 ~ 13:55
土・日曜 10:00 ~ 10:55 (再放送)
月曜 21:00 ~ 21:55 (再放送)
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

世知原茶



世知原茶は、県北最高峰の国見山を有する世知原町の高冷地(標高250~450m)で栽培されており、冷涼で霧深く、昼と夜の寒暖差があることから、高品質なお茶が育つ環境にあるといわれています。

世知原茶のお茶の種類は「蒸し製玉緑茶」と呼ばれています。茶葉の形状が^{まがたま}勾玉状に曲がっており、全国でも3%程度しか製造されていない希少なお茶で、渋みが少なく、まろやかな味わいが特長です。

温暖な気候で栽培される地域では、年5回程度(五番茶まで)収穫されますが、冷涼な環境で栽培されている世知原茶は、主に一番茶、二番茶と呼ばれる2回だけ収穫されています。その分、茶樹が十分に休眠することで翌年の一番茶に養分を蓄えることができ、高冷地産特有の爽やかな香りと蒸し製玉緑茶特有の濃厚なうま味を持ったお茶が作られています。

世知原茶は生産から加工、販売まで6次産業化されている生産者が多く、生産者の顔が見える安全安心なお茶づくり、高品質な世知原茶の銘柄確立に努められています。

また、毎年5月の最終土・日曜には、世知原新茶まつり「じげもん市」が開催されています。おとしから新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたが、こしは開催に向けて準備されています。お茶の生産販売者が一堂に会し、好みのお茶と出会える絶好の機会です。暖かな新緑の季節にお茶を探しに世知原へどうぞお越しください。

☎農政課 ☎24-1111

人の動き(3月1日現在)

- 総人口 239,233人(前月比-416人)
男性 113,434人(-228人)、女性 125,799人(-188人)
- 世帯数 104,230世帯(前月比-114世帯)
- 2月中の動き
転入 395人、転出 628人、出生 122人、死亡 305人

Topic 九重町・佐世保市姉妹都市提携30周年記念式典をオンラインで開催

2月10日(木)、本市は大分県九重町と姉妹都市提携30周年記念式典をオンラインで開催しました。

本市と九重町との交流は、昭和27年に九重町の農家の皆さんが高原野菜を佐世保中央卸売市場に出荷されたことをきっかけに始まりました。その後も長年にわたり野菜や果物の供給が続けられ、青果関係者の間で「農産物以外にも海と山の特性を生かした交流ができないか」との話が持ち上がったことを機に、平成3年7月26日に姉妹都市提携を行いました。

式典には市長や町長、民間交流団体などの関係者18人が出席し、九重町の日野町長は「ウィズコロナ時代を見据えた新しい交流の仕方を模索しながら、つながりを強く、交流の輪を広げていきたい」とあいさつされました。

また、朝長市長も「この30年に及ぶ交流の歴史を大切にしながら、今後ますます九重町との交流が盛んに行われ、交流の輪が温かく広がっていくことを願っています」と述べました。

この他にも九重町に贈呈する三川内焼で作られた記念品の紹介や記念動画が披露され、式典を通じて両市町のさらなる交流の発展を誓いました。

九重町の観光情報など詳しくは右の画像からご覧いただけます



本市と九重町との主な交流

- 九重ふるさと祭りへの参加(物産出店やよさこい演舞の披露など)
- かっちえてアイラブフェアや佐世保漁港お魚まつり、きらきらフェスティバルへの参加
- 九重町「町田川と宝泉寺温泉郷にホテルを育てる会」から本市児童養護施設「若竹の家」へのホテルの贈呈
- 民間団体(九重町「九重の自然を描く絵画展実行委員会」と本市「佐世保市・九重町美術展開催実行委員会」)同士による絵画の交流 など

☎文化国際課 ☎24-1111

徳育通信 120

聞いて「徳」する話 81 心は掃除に表れる

「掃除する姿を見ればその学級のことが分かり、掃除後の廊下を見れば隣同士の学級が仲良くしているかが分かる」。これは中学校の校長先生の言葉です。

私は毎日教室を掃除していますが、あまり掃除が好きではありません。教室や廊下をきれいにすれば、学校生活を快適に過ごせることは分かっていますが、校長先生の言葉を聞いても自分の心がなぜ掃除に表れるのか疑問に思っていました。実際、気分が良くない時の部屋はとても散らかっていますし、そのような時に掃除をするよう言われても面倒くさい気持ちにしかありません。

そのような中、メジャーリーグで活躍されている大谷翔平選手が野球道具を大切に、礼儀正しく行動している姿を見て、大変素晴らしいと感じました。しかも、プレー中にグラウンドのごみ拾いやベンチを掃除している姿を見ると、心を磨くためにも掃除などの簡単なことから行動することが大切だと思いました。(学生・匿名希望)



「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからダウンロードすることもできます。

☎佐世保徳育推進会議 ☎23-2856